

奄美海上保安部便り 第78号

- ・第78号は2025年12月から2026年2月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



大島地区消防組合との集団災害対応合同訓練

2月5日、災害時のトリアージに関する基礎的な手技の確認と地域連携の強化及び管内の救難体制の強化を図ることを目的とし、名瀬第二地方合同庁舎、巡視船「あまみ」船内において、大島地区消防組合、巡視艇「いそなみ」及び鹿児島航空基地機動救難士と合同で集団災害対応合同訓練が実施されました。

訓練では、大島地区消防組合名瀬消防署長によるトリアージに関する座学のほか、巡視船「あまみ」船内において想定訓練が実施されました。



トリアージに関する基礎座学

名瀬消防署長



海上保安官募集中！

本号の「目指せ、海上保安官！」のコーナーで、海上保安官からのメッセージを掲載しています。「海上保安大学校」、「海上保安学校」への入学をご希望される受験生は是非参考にしてください。

海上保安官採用サイト



<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>

お問い合わせ先 奄美海上保安部管理課 (TEL 0997-52-5811)

令和7年度流出油事故対策訓練

12月2日～3日、名瀬第二地方合同庁舎及び名瀬港において、第十管区海上保安本部環境防災課職員と管区内の訓練研修指導官（油防除等）10名が一堂に会し、巡視船「かいもん」、巡視艇「いそなみ」乗組員が参加し「流出油事故対策訓練」が開催されました。

訓練では、管区の防災対応能力の更なる向上を目指し、各種講義が行われ、実際に名瀬港において各資機材の慣熟訓練が行われました。



ブーム・オイルフェンス展開訓練



ミニマックス（油回収装置）の投入訓練



令和7年度奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会総会

12月10日、奄美ポートタワーホテルにおいて、奄美群島内のダイビング事業者が一堂に会する「奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会定期総会」が開催され、その中で、減圧症の事故が複数発生したことを受けて、減圧症予防研究家の今村昭彦氏による減圧症予防の講義と交通課職員による海難防止講習が行われました。



協議会総会の状況 会員24名参加



交通課職員による海難防止講習

減圧症予防研究家 今村昭彦氏

年末年始特別警戒、安全指導実施状況

◇危険物岸壁及び危険物荷役の安全点検

12月12日、名瀬港佐大熊A岸壁において、交通課職員により、港長業務実施要領に基づく危険物の荷役設備及び安全管理体制の状況、危険物荷役の安全点検と指導を実施しました。



◇名瀬小型船組合総会で海難防止講習会

12月6日、奄美観光ホテルにおいて、名瀬小型船組合総会が開催され、その中で交通課職員が海難防止講習を行いました。（受講者22名）



◇奄美クジラ・イルカ協会総会で海難防止講習会

12月12日、マリンスポーツ奄美において、奄美クジラ・イルカ協会総会が開催され、その中で交通課職員が海難防止講習を行いました。（受講者15名）



◇三機関合同による不正薬物密輸入防止啓発活動 ～海保・警察・税関～

12月24日、奄美空港において、奄美海上保安部、奄美警察署及び長崎税関鹿児島税関支署名瀬監視署の3機関合同で、旅行者等空港利用者に対し、リーフレットを配布し不正薬物密輸入防止と情報提供を呼び掛けました。



「カケルくん」、「カスタムくん」
「うみまる」くんも一緒に活動！

◇名瀬港ターミナル警戒（年末年始特別警戒）

帰省客等の増加が予想される1月4日、テロ行為の抑止及び犯罪の未然防止を目的として、名瀬港フェリーターミナルの警戒を実施しました。



- 排出油等防除協議会総会訓練・救難所訓練～わきや、きよらさ海を守ろう！～
12月12日、古仁屋港において、奄美群島排出油等防除協議会瀬戸内支部（養殖業者等24機関）計53名、瀬戸内漁協所属船2隻と古仁屋海上保安署及び巡視艇「いそなみ」、監視取締艇「ぱるさあ」も参加し、オイルフェンス展張訓練と海難救助訓練が実施されました。



オイルフェンス展張訓練



海難救助訓練

瀬戸内町防災訓練

12月21日、瀬戸内町役場（対策本部）と古仁屋港において、瀬戸内町防災訓練が開催されました。

訓練では、「南海トラフ地震」により、瀬戸内町は震度2を観測、奄美大島に大津波警報（約5m予想）が発表されたことを想定し、各集落での避難計画による住民行動確認、避難所開設を主として実施され、巡視艇「いそなみ」は、町営定期船「せとなみ」、85トと曳航訓練を実施しました。



瀬戸内町役場対策本部の状況



巡視艇「いそなみ」による町営定期船「せとなみ」曳航訓練の状況



奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会元会長 「中田留弘氏」へ感謝状贈呈

1月28日、奄美海上保安部において、奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会会長として、平成20年から令和7年までの長きにわたり、奄美群島のダイビング事業の安全推進活動を牽引された中田留弘氏に対して、奄美海上保安部長から感謝状を贈呈しました。令和8年からは木本勝也氏が会長に就任されています。



笠利小学校薬物乱用防止教室

2月6日、奄美市立笠利小学校において、5、6年生児童15名に対し、警備救難課職員が薬物乱用防止教室を行い、違法薬物の危険性と身体に与える悪影響等について講話を行いました。



奄美磯釣連盟総会での海難防止講習会

2月22日、新川ふれあい館(奄美市)において、奄美磯釣連盟総会(参加者50名)が開催され、その中で交通課職員が海難防止講習を行いました。



膨張式ライフジャケット実装体験

- 1 ライフジャケットの着用
- 2 釣り場に応じた履物を着用
- 3 連絡手段の確保(防水ケース入りの携帯電話)
- 4 無理をしない(天気予報を十分に確認、体調は万全に)
- 5 単独行動をしない(一人の時は必ず行動計画を第三者に教えておく)
- 6 立入禁止区域には入らない

釣りを安全に楽しむためのお約束!



海上工事作業の事故防止と法令遵守に関する講習会

2月27日、名瀬港湾センターにおいて、警備救難課及び交通課職員により、港湾工事従事者等約30名に対して、海上工事作業時の事故防止と海事関係法令に関する講習会を開催しました。



人材確保に向けて～学生募集活動～

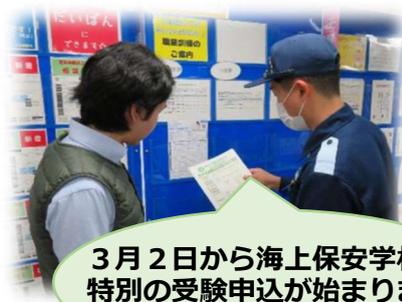
◇鹿児島県立与論高等学校訪問

12月18日、奄美海上保安部長が鹿児島県立与論高等学校を訪問し、進路指導部の担当者に対して海上保安庁の業務説明と学生募集を行いました。



◇名瀬公共職業安定所訪問

2月2日、管理課職員が名瀬公共職業安定所を訪問し、海上保安学校（特別、10月入学）の受験者を確保すべく、パンフレットを配布のうえ海上保安庁の業務説明と学生募集への協力依頼を行いました。



◇奄美大島公安系公務員業務説明会

2月15日、名瀬第二地方合同庁舎において、奄美大島初となる海保・警察・消防・自衛隊の四機関合同の業務説明会を行いました。

海上保安庁ブースでは海上保安庁の業務や学生生活の様子を詳しく説明し、海上保安学校（特別、10月入学）受験案内を併せて行いました。

| | |
|-------|--|
| 開催場所 | 名瀬第二地方合同庁舎3階 |
| 日時 | 2月15日(日) 10:00～16:00 |
| 対象 | 中学生、高校生、家族、先輩 |
| 内容 | 警察・消防・自衛隊・海上保安庁による業務説明、進路相談 ※中学生・高校生専用 |
| 問い合わせ | 奄美海上保安部管理課 〒897-52-5811 連絡先 平日 30-1115 |



あまみエフエム（77.7MHz）に生出演



◇12月4日、警備救難課と交通課職員があまみエフエムに生出演し、12月10日～翌年1月10日まで実施する「年末年始特別警戒及び安全指導」に関して周知を行いました。



◇2月5日、交通課と管理課職員があまみエフエムに生出演し、令和7年の海難発生状況とホエールウォッチングや釣りのシーズンへ向けた注意喚起と、海上保安官採用試験と2月15日開催の「公安系四機関合同業務説明会」の周知を行いました。



急患輸送（2件、2人）

◇巡視船「かいもん」による喜界島からの急患輸送

12月30日1833、鹿児島県から、喜界島において「急性穿孔性胆のう炎」の疑いで至急手術が必要な患者（男性、29歳）の急患搬送要請があり、巡視船「かいもん」を喜界島湾港に急行させ、31日0030喜界徳洲会病院の医師及び看護師が同乗のうえ患者を大島地区消防組合喜界消防分署から引継ぎ、31日0220頃、奄美大島名瀬港にて救急車に引継ぎ、患者は鹿児島県立大島病院に搬送されました。



湾港での引継状況



名瀬港での引継状況

◇巡視艇「いそなみ」による喜界島からの急患輸送

1月31日1135、鹿児島県から、喜界島において「絞扼性癒着性腸閉塞（こうやくせいゆちやくせいちょうへいそく）」の疑いで、至急手術が必要な患者（女性、53歳）の急患搬送要請があり、巡視艇「いそなみ」を喜界島に急行させ、1535早町漁港にて、喜界徳洲会病院の医師及び看護師が同乗のうえ患者を大島地区消防組合喜界消防分署から引継ぎ、海上荒天のため古仁屋港に入港し、1732救急車に引継ぎ、患者は鹿児島県立大島病院に搬送されました。



古仁屋港での引継状況

令和7年奄美群島周辺海域における海の事故発生状況（速報値）

【船舶事故の発生状況】

令和7年に発生した船舶事故は9隻（死者・行方不明者はゼロ）で前年より8隻減少しました。（※台風等荒天による事故発生が減少したことで8隻減少）

船舶種類別では、プレジャーボートが4隻と最も多く、次いで貨物船3隻、漁船1隻、旅客船1隻の順となっており、事故の種類別では、機関故障や推進器障害等による運航不能が6隻と最も多く、次いで乗揚2隻、転覆1隻の順となっています。

船舶事故内容の特徴として、機関故障や推進器障害による運航不能が6隻、旅客船と貨物船による事故が2隻発生しています。

（1）船舶種類別の推移〔単位：隻〕

【速報値】

| 年 船舶種類 | 2021 (R3) | 2022 (R4) | 2023 (R5) | 2024 (R6) | 2025 (R7) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| プレジャーボート | 6 | 5 | 4 | 6 | 4 |
| 漁船 | 5 | 2 | 3 | 4 | 1 |
| 貨物船 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| 作業船 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 旅客船 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| 遊漁船 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| タンカー | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 合計 | 11 | 10 | 10 | 17 | 9 |

（2）船舶事故種類別の推移〔単位：隻〕

【速報値】

| 年 事故種類 | 2021 (R3) | 2022 (R4) | 2023 (R5) | 2024 (R6) | 2025 (R7) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 運航不能 | 5 | 6 | 5 | 8 | 6 |
| 転覆 | 1 | 0 | 0 | 4 | 1 |
| 乗揚 | 3 | 4 | 4 | 3 | 2 |
| 衝突 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 浸水 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 11 | 10 | 10 | 17 | 9 |

※ 運航不能とは、機関故障、舵故障、無人漂流等をいう。

船舶事故を無くすために、基本的な安全確認の徹底をお願いします！

- ・ 発航前には、「気象・海象の確認」、「発航前点検の徹底」
- ・ 航行時には、「常時見張りの徹底」
- ・ 荒天時には、「係留の強化」、「走錨注意」

【人身事故の発生状況】

令和7年に発生した人身事故は21人（死者・行方不明者8人）で昨年より1人増加しました。

このうち、マリレジャーに伴う海浜事故が11人と最も多くなっており、マリレジャーの活動内容別では、遊泳中7人、ダイビング中2人、釣り中1人、磯遊び中1人でした。

また前年多数発生した観光客等によるマリレジャー中の事故は、7人で昨年より4人増加しており全体の約6割りを占めています。

(1) 事故数及び事故に伴う死者・行方不明者数の推移〔単位：人〕

【速報値】

| 年 | 2021 (R3) | 2022 (R4) | 2023 (R5) | 2024 (R6) | 2025 (R7) |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事故区分 | | | | | |
| マリレジャーに伴う海浜事故 | 14 (7) | 13 (10) | 13 (9) | 9 (3) | 11 (7) |
| マリレジャー以外の海浜事故 | 8 (2) | 14 (4) | 9 (0) | 7 (0) | 7 (1) |
| 船舶事故以外の乗船中の事故 | 4 (2) | 2 (1) | 2 (1) | 4 (3) | 3 (2) |
| 合計 | 26 (11) | 29 (15) | 24 (10) | 20 (6) | 21 (10) |
| 死者・行方不明者 | 12 (3) | 15 (6) | 11 (4) | 9 (3) | 8 (2) |

() は奄美群島外から来た者による事故数

(2) マリレジャーに伴う海浜事故の内訳〔単位：人〕

【速報値】

| 年 | 2021 (R3) | 2022 (R4) | 2023 (R5) | 2024 (R6) | 2025 (R7) |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 活動区分 | | | | | |
| 遊泳中 | 9 (5) | 7 (6) | 7 (7) | 4 (2) | 7 (5) |
| 釣り中 | 1 (0) | 1 (0) | 2 (0) | 2 (0) | 1 (0) |
| スクーバダイビング中 | 1 (1) | 4 (3) | 1 (1) | 1 (1) | 2 (2) |
| サーフィン中 | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 0 (0) |
| 磯遊び中 | 1 (0) | 1 (1) | 1 (0) | 1 (0) | 1 (0) |
| SUP中 | 2 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| ボートセーリング中 | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 0 (0) |
| その他 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 合計 | 14 (7) | 13 (10) | 13 (9) | 9 (3) | 11 (7) |
| 死者・行方不明者 | 5 (2) | 7 (5) | 6 (4) | 3 (2) | 3 (1) |

() は奄美群島外から来た者による事故数

まもなくマリレジャーシーズンの到来です。
注意事項を守って奄美の海で楽しく遊みましょう！

- ・「子供から目を離さない」
- ・「海ではライフジャケットを着用する」
- ・「一人では海に行かないで複数で行く」
- ・「天気が悪い日は海に行かない」
- ・「体調の悪い日は海に行かない」



©JCGF

海難の発生状況

12月から2月の間、管内で、4隻の船舶事故（鹿児島保安部管内1隻含む。）と人身事故2人（1人が海浜事故、1人は船内死亡）が発生しました。

◇奄美市笠利町赤木名沖座礁船

1月14日0700頃、笠利町赤木名港向け航行中の貨物船（5人乗り、499トン）が同港沖の浅瀬に乗揚げました。同船は0820頃、自力で離礁し、0845頃赤木名港前肥田地区岸壁に着岸しました。

乗組員に怪我及び油の流出等はなく、同船手配の潜水業者による調査を行ったところ、擦過傷とプロペラに一部損傷がありました。同船は、調査結果をJG（運輸局）に報告し運航可との了承を得た後、1645頃、門司港向け出港しました。



◇悪石島西方漁船絡索事故

事故漁船（漁船、12ト、船長1名乗り）は、1月16日早朝から悪石島西方海域にて漁をしており、1330頃、プロペラに絡索し機関が停止しました。解らんを試みるも失敗したことから、118番通報したものです。

通報を受け、鹿児島保安部所属巡視船「あかいし」及び古仁屋保安署所属巡視艇「いそなみ」が現場に急行し、1805巡視艇「いそなみ」潜水士により解らん作業が完了し、自力航行可能となりましたが、事故漁船船長が高熱を発症し、操船不可能となったため、事故漁船は巡視船「あかいし」乗組員により、17日1140宝島前籠漁港に係留させました。

漁船船長は、巡視艇「いそなみ」により名瀬港まで搬送され、2359奄美海上保安部職員に引継ぎ、17日0010県立大島病院に搬送されました。

漁船船長はインフルエンザA型と診断されました。



◇瀬戸内町薩川湾内小型船舶船位喪失（運航不能）

事故船舶（PB、5ト、船長1名乗り）は、1月19日1800頃瀬戸内町篠川港を出港し、直後から豪雨による視界不良のため同港沖に設置された養殖施設区域内に侵入して出られなくなりました。

一旦同施設に係留し、仮眠後の2300頃、養殖施設内から出ることができ、目的地である瀬戸内町芝港向け航行を開始しましたが、芝港の入口が確認出来ず不安となり、錨泊のうえ救助を求めようとするも、当庁への電話番号がわからず、知人に架電しましたが出ず、0509頃、再度



架電しつながったので、知人に当庁へ救助要請するよう依頼しました。

知人からの通報を受け、監視取締艇「ぱるさあ」が0629頃出動し、0715頃、事故船舶と会合し、0745頃「ぱるさあ」に曳航されて沖だしされ、その後は、自力で航行し、0835頃、定係地である篠川港に無事入港できました。
船体、人員に異常はありませんでした。

◇瀬戸内町須手沖手漕ぎボート内傷病者

1月25日0930頃、「瀬戸内町須手沖で、黄色い手漕ぎボート内に人が寝ているか倒れている」との118番通報を受け、0945監視取締艇「ぱるさあ」が出動し、0950船舶と会合しました。

船内で事故者（75歳、男性）が心配停止の状態で見られ、直ぐに潜水士によるCPRを開始され1008事故者を救急隊に引継ぎました。

その後1020瀬戸内徳洲会病院に搬送されましたが1050医師により死亡が確認されました。

外傷等はなく不整脈による急性心不全と検案されました。手漕ぎボートは「ぱるさあ」により回収されました。



◇徳之島町下久志カイトサーフィン中傷病者

事故者（68歳、男性）は、1月25日1030頃、カイトサーフィンを開始し、1040頃、近くで見ていた救助者が、事故者がうつ伏せになり動かなくなったことに気付き、事故者のもとまで走り、呼び掛けましたが意識がないことから、救助者が砂浜まで引き揚げました。1052救助者に依頼された通報者により119番がなされ、その後救急隊により、徳之島徳洲会病院に搬送されましたが、

1217医師により死亡が確認されました。外傷等はなく溺死と検案されました。



自己救命策の確保3つの基本



ライフジャケットの常時着用



連絡手段の確保



118番の活用



奄美海上保安部

古仁屋海上保安署



©JCGF

目指せ、海上保安官！



海上保安官になるためには、「海上保安大学校」または「海上保安学校」の入学試験に合格する必要があります。

海上保安官は、巡視船艇などの海上勤務だけでなく、本庁（霞が関）、管区本部（全国11か所）などでの陸上勤務など、様々な業務を行います。

海上保安官に必要な幅広い知識や技能、特殊な業務を行うための専門的な能力を養成するための教育機関として、幹部職員を育成する「海上保安大学校」と現場第一線の職員を育成する「海上保安学校」において必要な知識、技能を身に付けて現場へ赴任することになります。

海上保安大学校は広島県呉市にあり、本科4年（2学年後半から航海、機関、情報通信に分かれる）、専攻科6ヵ月、研修課3ヶ月の計4年9か月の教育を受けます。



海上保安学校は京都府舞鶴市にあり、一般課程（航海、機関、通信、主計、航空整備）は1年間、管制課程は2年間、航空課程は1年間の学校教育の後約2年間の研修を受けます。

どちらも学校という名が付いていますが、入学と同時に国家公務員となり、毎月約20万の給与が支給されます。

両校ともに全寮制で、規則正しい団体生活を通して、海上保安官に必要な正義仁愛の精神を身に付け、リーダーシップ、チームワーク、気力、体力の充実を図っています。



**次のページから「現役海上保安官からのメッセージ」を掲載しています。
受験のための準備など役立つ情報が沢山あるのでぜひご覧ください！**

現役海上保安官からのメッセージ

これから海上保安官を目指す高校生の皆様のために、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署で勤務している若手海上保安官からのメッセージです。

- 1 氏名、年齢、出身高校、現職、入庁年月
- 2 海上保安官を目指したきっかけ
- 3 受験のための準備
- 4 学校の思い出など
- 5 これから海上保安官を目指す高校生の皆様へ一言

- 1 三善 雄生 25歳 鹿児島県立開陽高等学校 巡視艇いそなみ機関士補 R3.4入庁
- 2 ドラマ海猿に憧れました！また、元々海が好きで、幼い頃に港祭りで海保のブースがあり、制服の試着を行った際かっこいい制服だと憧れを持ち、なりたいたと思いました！
- 3 予備校に通っていましたが。過去問を何度もとくことを繰り返していました。また、時間を測って早く解く力をつけていました
- 4 コロナ時期真只中の学校生活だったので、外泊禁止や外出の制限がありながらも、寮内生活で、同期や先輩、後輩との思い出は沢山作ることが出来ました。
五森祭は開催することは出来なかったですが、感染対策を行い、自衛隊や高校等のカッター部（端艇）との大会もおこなわれました。コロナ禍以外の学生より思い出は少なかったかもしれませんが、学生同士の絆はとても強かったと思います！
- 5 海上保安官という仕事のなかにも様々な職種があります！自分のやりたいことやしてみたいことの選択の幅が広がります！また、夕日や星空等見たことの無い自然現象が見ることも出来ます。とても経験になると思います。

- 1 高木琉聖 23歳 男性 鹿児島県立鹿児島商業高校 巡視船あまみ航海士補 R4.10入庁
- 2 公務員志望で、色々な試験を受ける中で、十管区採用だったため、決めました
- 3 ひたすら、公務員試験対策をし、常に試験を意識し勉強しました。
- 4 同期の仲が良く、常に切磋琢磨していたこと
- 5 諦めなければ、道は開けます！

- 1 戸田 樹 26歳 愛知県立熱田高等学校 巡視船あまみ 主任航海士 H31.4 入庁
- 2 公安職に興味があり、学生時代に業務見学に参加し、海での仕事をしたいと思ったから。
- 3 高校の受験勉強に加え、公務員の勉強をすすめた。
- 4 海上保安大学校には全国から集まった同期と苦しい学生生活がありますが、互いに助け合い4年という長い生活ですが、今ではいい思い出です。休みの時には旅行に出かけたりなどしていました。
- 5 海上保安庁は仕事の幅が広く、多くの経験ができる職業だと思います。受験勉強を頑張ってください。

- 1 川田 聖 26歳 沖縄県立豊見城高等学校 巡視船あまみ 主計士補 R1.10 入庁
- 2 専門学校で受験を勧められました。
- 3 公務員試験の過去問等を一日約8時間やりました。
- 4 新型コロナで遠出がなかなか出来なくなり、筋トレを一生懸命やりました。
- 5 しっかり考えて受験すると良いと思います。

海上保安官はさまざまな経験を積みながら、自分の適性や希望に応じてキャリアアップを図ることができ、あらゆる分野のスペシャリストとして活躍する道があります。



特別警備隊



機動防除隊



機動救難士



特殊救難隊



船舶工務官



武器技術官



南極地域観測隊



国際捜査官



ソマリア周辺海域派遣捜査隊



試験研究官



鑑識官



情報処理官



運用管制官



音楽隊



教育機関教官



海上保安官採用サイト

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>